

# 議会報告会 報告書

令和7年12月2日

大竹市議会

議長 北地 範久 様

班 名 B班

班 長 西村 一啓

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

## 1 開催日時

令和7年11月13日（木） 17時00分～18時30分

## 2 開催場所

小栗林集会所

## 3 参加人数

9人

## 4 担当班議員名

班 長 西村 一啓

副班長 末広 天佑

班 員 細川 雅子、小田上尚典、豊川 和也

## 5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

総務文教委員会

「家庭用防犯カメラ等の購入費・設置費補助金について」

「西国街道の整備について」

生活環境委員会

「手話言語条例の制定について」、「補聴器購入助成について」

議会運営委員会

「岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する意見書の提出  
について」

広報広聴特別委員会

「議会情報の発信（SNS、議会だより）について」

(3) 意見交換

(4) 閉会あいさつ

## 6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

特になし。

(回答しなかった質疑)

特になし。

(意見・要望等)

特になし。

## 7 意見交換

(回答した質問)

Q：議員定数問題はどうなりましたか。

A：過去（約2～3年前）に議会のあり方調査研究特別委員会で定数の議論が行われました。その結果、人口比だけでなく、面積や財政規模、常任委員会の運営に必要な人数を考慮し、定数は16人で維持するという結論が出ています。この決定に満足している議員は全員でないものの、今後も状況に応じて検討していく可能性はあります。

Q：三倉岳の活用について伺います。

A：三倉岳は市ではなく、県が観光を進めています。現状は、山の間接地にトイレがなく、女性クライマーなどが途中で引き返す原因となっているため、トイレの設置が求められています。また、公共交通の運行についても、国道186号を通り栗谷と沿岸部を結ぶバスの運行など、地元住民からの強い要望が必要です。

Q：道の駅構想について伺います。

A：市が検討している道の駅は、皆さんが一般的に想像するような「売物」をメインとした施設ではなく、スポーツ・体験型の施設を検討しており、市民の方にも使ってもらうことを目的としています。

Q：人口減対策について伺います。

A：市は人口を増やすことは難しいと認識しており、人口の減り方を緩やかにすることを目指しています。本市の人口減は、社会減（転出）ではなく、出生数より死亡数が上回る自然減が主な原因となっています。市では、医療費無償化、小中学校の給食費無償化（広島県内初）、おむつの宅配など、子育て支援策を充実させています。

また、今後は製造業中心では少ないとされる女性が働ける職場を、観光計画などを通じて増やすことで、若者が大竹市に定住し子育てができる環境づくりを進めていく方針です。

Q：中山間地域の農業について伺います。

A：松ヶ原地区と栗谷地区における地域計画は、まだ内容が詰められていない状況であり、具体的な施策として農地バンクや座談会の実施が検討されています。近隣市のような農業補助

策はまだ具体化されていません。

Q：公共交通対策について自治会を中心に要望をまとめても、行政との話し合いの場がなかなか設けられない状況となっています。

A：栗谷地区では、現状のバス運行（平日4便、日曜3便）に対して、デマンド型乗合タクシーの導入やルート改善（例：谷尻からの運行、家の前までの送迎）といった具体的な地域案が検討されています。話し合いの場がないということは市に伝えます。

(回答しなかった質問)

- ・農業全般について

廿日市市は肥料の補助が出るようになりました。大竹市はどう思っていますか。

- ・空家対策問題について

空家対策がまったくできていません。教員住宅や学校の跡地に企業を誘致できませんか。

(意見・要望等)

- ・老人施設を誘致してほしい。

## 8 気付きや反省点

- ・特定の方ばかりが多く話していたので、他の人も話しやすいような場づくりが必要であると感じました。